

広島高速5号線シールドトンネル工事の進捗状況等について

1 要旨・目的

広島高速道路公社が事業を進めている広島高速5号線のシールドトンネル工事の進捗状況等について報告する。

2 現状・背景

シールドトンネル工事については、令和3年10月から牛田地区の住宅地区間を掘進しており、地表面変位の抑制などの対策を取りながら慎重に工事を進めている。昨年12月に地表面変位が隆起方向の二次管理値(2.4mm)に到達し、掘削作業を一旦停止していたが、隆起の要因分析や対策の検討などを行った上で先月29日から掘削を再開している。

また、費用負担等に係る契約変更の内容について、受注者から公社に対し、中央建設工事紛争審査会に調停申請した旨の連絡が令和4年12月5日にあった。なお、公社及び受注者ともに、これまでと同様に安全・安心を第一として早期完成を目指し工事を継続していくこととしている。

3 概要

(1) 対象者

—

(2) 事業内容（実施内容）

ア 牛田地区におけるシールドトンネル工事の掘削状況

6月29日(木)から掘削を再開し、7月10日(月)時点で約14m掘進しており、住宅地区間約350mのうち約258m地点（シールドトンネル工事延長約1,400mのうち約900m地点）に到達している。

地表面変位が二次管理値(2.4mm)に到達した計測点(UL1-6)は、掘削再開後0.0mm～+0.4mmの変動であり、引き続き変動を注視していく。

イ 騒音・振動への対応

騒音・振動の影響については、個別訪問により住民の意見や感じ方を聞き取りするなど丁寧な対応を行っており、引き続き、住民のニーズに沿って柔軟に対応する。



(3) スケジュール

—

(4) 予算（単県）

令和5年度 広島高速道路公社出資金・貸付金 650百万円

(5) 今後の対応

引き続き、事業主体である公社や広島市と連携し、住民の不信や不安を可能な限り払拭できるよう、適切かつ丁寧な対応に努めながら、着実な事業推進に取り組む。